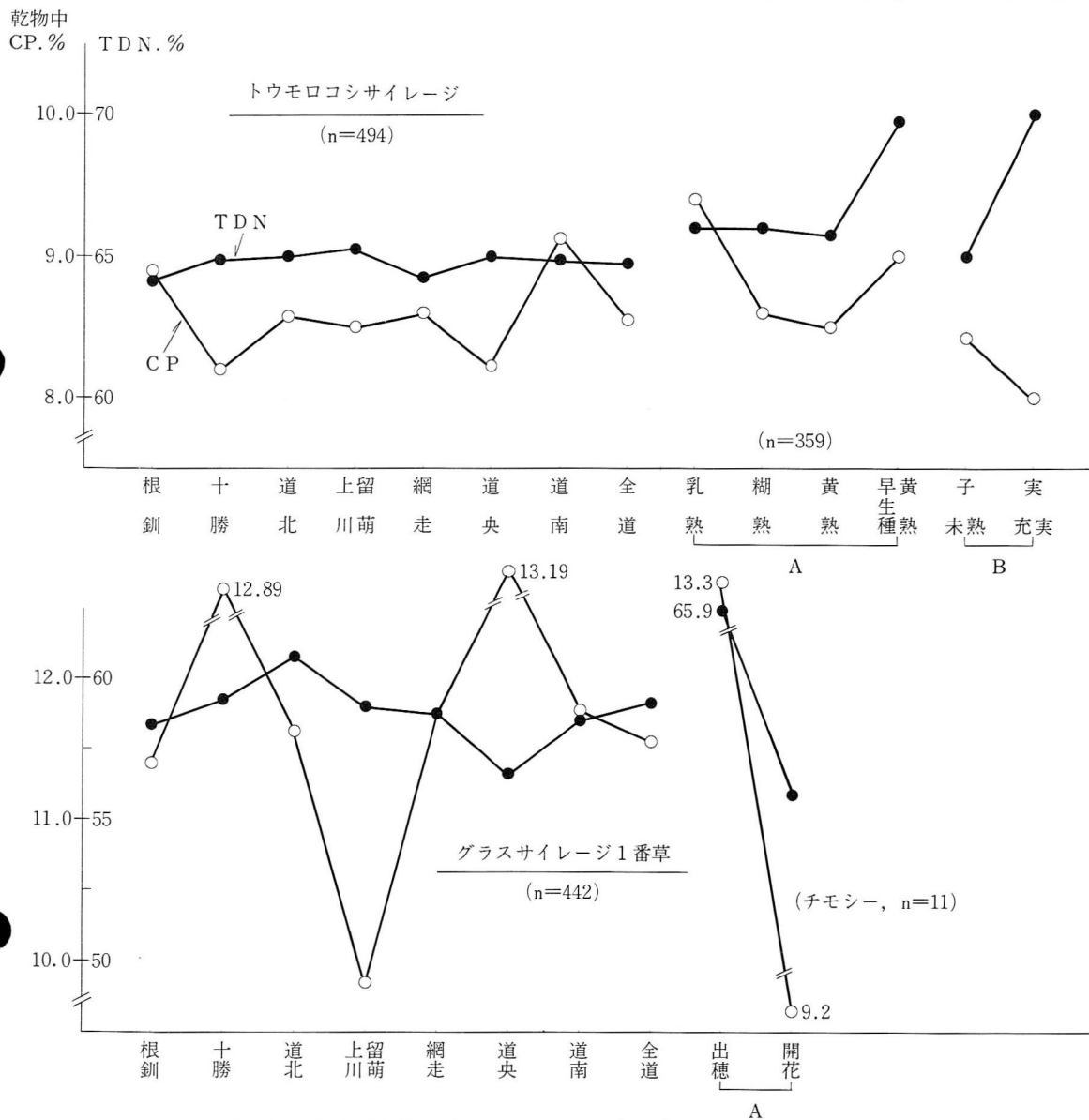


昭和57年産サイレージの分析結果 (北海道)

雪印種苗 (株) 中央研究農場



注 A : 日本標準飼料成分表 (1980) による。B : NRC (1980) による。

トウモロコシサイレージでは、TDNは65%弱で全道的にほぼ揃っていますが、CP含量は根釧、道南が高いことから、これらの地域では熟期が進んでいないことも考えられます。また成分表の数値には、TDNが70%に達するのは、早生種の黄熟期であることが示されています。

またトウモロコシサイレージのCP含量は全地域いずれも乾物中で8%以上であり、前に示したチモシーの105、オーチャードグラスの89% (全道平均値比較) に達していることが注目されます。

グラスサイレージ1番草では、地域間差が大きくなっていますが、これはサンプルの大半が根釧、道北であったこと、及び草種の違いなどによるものと考えられます。